

パールテクト標準盤の特長

パールテクトブレーカの採用で電気回路の安全・安心に貢献!

電灯分電盤6回路から豊富な器種と回路構成でフルラインナップ!



パールテクトブレーカ20Aは、コード短絡保護用瞬時遮断機能付!

コンセント回路に

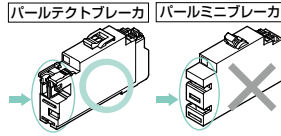
BC-1NA
2P1E
20A



BC-2NA
2P2E
20A

分岐ブレーカの増設、交換について

分岐ブレーカの増設、交換の際は、パールテクトブレーカをご使用ください。電源側プラグイン端子の形状が異なるため、従来のパールミニブレーカは取り付けできません。



特長

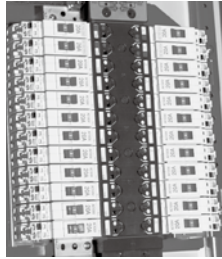
- 1 プラグイン端子方式(電源側)の分岐ブレーカ1次側で供給電圧の測定が可能!

注意 テスターは先端部が14mm以上のものを使用してください。



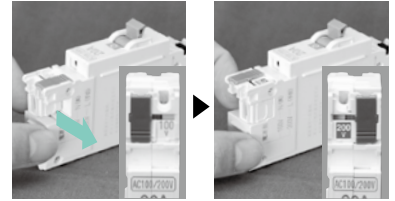
- 2 銅母線バーを完全カバー!

充電部となる銅母線バーを完全にカバーで覆い正面から容易に触れられない構造としました。安全・安心の構造です。母線カバーは取り外しできません。

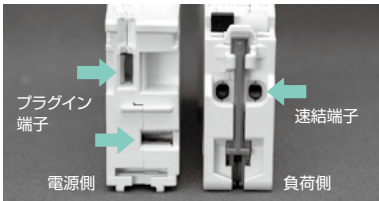


- 3 横スライド式の電圧切替方式により文字と色で電圧表示!

100V・200V切り替えと同時に電圧表示も切り替わる構造としました。(2P2E)



- 4 分岐ブレーカの端子は信頼性の高いプラグイン端子(電源側)、速結端子(負荷側)を採用!



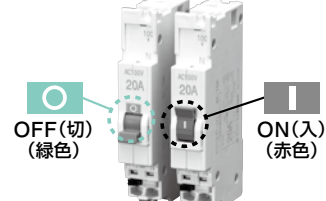
- 5 分岐ブレーカの極性を色で表示!

速結端子の電線解除ボタンを白と黒に分けて接続する電線の極性をわかりやすくしました。



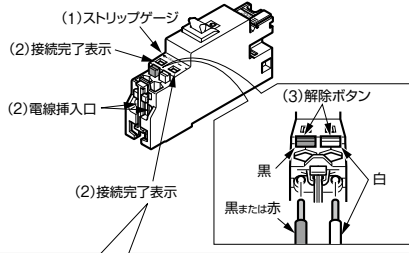
- 6 ブレーカのON、OFFの視認性アップ!

色分けとIEC記号の採用によりON、OFF状態をわかりやすくしました。

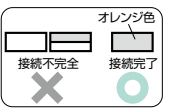


1 分岐ブレーカ(速結端子)への電線接続

- (1)電線の被覆をブレーカ本体のストリップゲージに合わせて、15mm(13~18mm)剥離します。
- (2)電線挿入口に電線を差し込み、オレンジ色の接続完了表示が出るまで差し込みます。



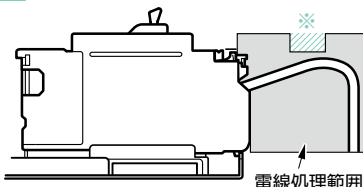
注意 電線の押込み荷重が高すぎる(100N以上)とブレーカが破損する場合があります。電線を差し込んで、オレンジ色の接続完了表示が出ない場合は接続が不十分です。電線の剥離長さを確認して接続し直してください。施工時の電線処理によりオレンジ色の表示が消えた場合は、再度電線を差し込み直してください。



- (3)電線を抜く場合は、解除ボタンを押しながらかき抜いてください。

注意 解除ボタンの押込み荷重が高すぎる(70N以上)とブレーカが破損する場合があります。

注意 接続電線は電線処理範囲内で配線してください。



※範囲外に出ますと、保護板を取り付けることができません。また、電線被覆を傷つけ、感電・短絡の原因となるおそれがあります。

注意

- 電線の差し込み部の変形・腐食は、接続不良の原因となります。電線の変形・腐食部分を取り除いた後、電線の被覆を剥離し、接続し直してください。
- 1つの速結端子に2本以上の電線を差し込まないでください。
- 棒圧着端子を使用する場合は、必ず絶縁キャップを取り付けてください。短絡のおそれがあります。
- 心線をはんだ付けしないでください。
- 適合圧着工具を使用して電線を圧着してください。

接続可能電線: $\phi 1.6 \cdot \phi 2.0 \cdot \phi 2.6$ Cu(銅)単線専用

(注)30Aは $\phi 2.6$ の単線、より線の場合は指定の棒圧着端子を接続してください。(より線の場合は棒圧着端子使用)

より線サイズ	適合棒圧着端子使用
1.25mm ² 2.0mm ²	TC 2-20(棒圧着端子) VC 1-2(絶縁キャップ) 【ニチフ製】
3.5mm ² 5.5mm ²	TC 5.5-21ST(棒圧着端子) VC 5.5-21(絶縁キャップ) 【ニチフ製】 (30Aに標準付属)

[棒圧着端子接続方法]

- (1)電線の被覆を6mm剥離します。
- (2)棒圧着端子に電線を通し、圧着します。
- (3)棒圧着端子に絶縁キャップを取り付けます。

■適合圧着工具
ニチフ製NH1、NH9、NA3(NA3 7)または同等品

